

年 度 評 価 シ ー ト

課名 高齢者福祉課

施設の名称 老人憩の家	指定管理者名 (特非)ワーカーズコープ												
1 履行状況													
業務仕様書及び事業計画書に従って、概ね適切に履行されている。													
(1) 施設維持管理業務 消防設備保守点検、空調設備保守点検（フロン漏えい点検含む）、建築設備定期点検等、第三者委託により、施設維持管理書に従い、適切に漏れなく実施されている。													
(2) 施設利用状況 平成30年度の老人憩の家2館合計の年間利用者数は、前年度比103.8%となった。東部老人憩の家は、横ばい、清開きらく荘は、6%程度の増加であった。両館の特徴として、でん伝体操参加者が対前年度比で、東部（1,104人→1,740人）、きらく（1,291人→2,088人）と大幅に増加している。													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">施設名</th> <th style="width: 33%;">年間利用者数</th> <th style="width: 33%;">前年度利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>清水老人憩の家清開きらく荘</td> <td style="text-align: center;">21,736人</td> <td style="text-align: center;">20,481人</td> </tr> <tr> <td>清水東部老人憩の家</td> <td style="text-align: center;">13,237人</td> <td style="text-align: center;">13,211人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(合計)</td> <td style="text-align: center;">34,973人</td> <td style="text-align: center;">33,692人</td> </tr> </tbody> </table>		施設名	年間利用者数	前年度利用者数	清水老人憩の家清開きらく荘	21,736人	20,481人	清水東部老人憩の家	13,237人	13,211人	(合計)	34,973人	33,692人
施設名	年間利用者数	前年度利用者数											
清水老人憩の家清開きらく荘	21,736人	20,481人											
清水東部老人憩の家	13,237人	13,211人											
(合計)	34,973人	33,692人											
(3) 事業実施状況													
ア 各種相談（生活相談・健康相談） 各種相談業務を毎月1回、場所と日時を設定し、おたより、館内掲示などにより広報し、主に職員が実施している。清開きらく荘では、定例の相談会以外にも随時相談を受け付けており、9人の相談があり、問題解決を図った点が評価できる。													
イ 介護予防・健康増進 でん伝体操をはじめ、ちゃきちゃき体操、清開きらく荘で実施されたシニアヨガ（902人）、声の教室（300人）や、東部老人憩いの家の音楽療法、卓球など、健康増進のための活動が数多く実施された。 静岡市地域包括ケア推進本部主催のフレイル予防プロジェクトには、老人憩の家も参加し、フレイルチェックシートを使った健康度チェックを参加利用者を受けていただき、ご自身の健康（虚弱度）を知り、健康の意識を高めることに役立っている。													
ウ 老人クラブに対する援助等 清開きらく荘では、レクリエーションダンスや輪投げ大会の開催や親睦会のサポートを行った。東部老人憩の家は、グラウンドゴルフ大会やカラオケ祭りのサポートを行うと共に、売店の運営を通じて援助が行われている。													
エ 自主事業 2月に鯨ヶ池老人福祉センターで「11館合同輪投げ大会」を大型バスをチャー													

<p>ターして開催した。両館とも今年度は、利用者に好評な映画上映会を実施した。清開きらく荘では、4館交流合唱祭の他、単独でもダーツ、スカットボール、輪投げ、卓球などの大会を数多く開催した。また、毎週日曜日他、自由にカラオケができる「個人カラオケの日」を設定し、利用者増につなげている点が評価できる。</p> <p>オ その他</p> <p>3月に開催された「心のバリアフリー・ハッピーシニアライフイベント」には、ブース出展（エコ・クラフト、スカットボール等）及びステージ出演（由比交流センター・蒲原老人福祉センターダンス等）で参加した。</p> <p>12月に「高齢者とのコミュニケーションの取り方」というテーマで接遇研修を全職員を対象に実施された。今迄、高齢者の心理など、気づけなかったこともあり、良好なコミュニケーションを取ることの重要性を再認識する場として効果的な活動であったと評価できる。</p>					
<p>2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）</p> <p>市民（利用者）からの意見・要望・クレームについては、一人ひとりの職員が市の窓口であるという意識と緊張感をもって対象者に丁寧な説明を行うと共に、迅速かつ適切に対応、回答するように努めている点が評価できる。</p>					
<p>3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価</p> <p>利用者アンケートは、老人憩の家2館で、455人の回答があり、多くの利用者の意向などを施設運営に反映させるよう努めている。2館合計の施設利用満足度は、満足が70.5%、やや満足が21.3%で、職員対応満足度は、満足が77.4%、やや満足が15.2%で、前年度より満足度は、清開きらく荘は上昇、東部老人憩の家は下降している。概ね利用者に満足いただいていると評価できるため、今後のさらなる努力に期待したい。また、2館合計の清掃状況については、行き届いているが64.0%、普通が27.7%であった。</p>					
<p>4 指定管理者の経理状況の評価</p> <p>指定管理業務の収支状況については、おおむね予算の通り適正に執行されている。また、精算制修繕費の実績額については、上限額を若干上回る適正額であった。</p>					
<p>5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）</p> <table border="1" data-bbox="240 1462 1062 1556"> <tr> <td>前年度事務事故発生の有無</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無</td> <td>無</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 老人憩の家は、比較的小規模ではあるが、地域の高齢者施設として他地域の老人福祉センターなどと施設サービスに差が出ないよう与えられた条件のもと、各種企画、イベント、世代間交流など実施するよう努めている点が評価できる。 安心・安全な施設の管理・運営を最優先させていた。事故対応については、マニュアルに従い、適切に対応を行っていた。防災訓練は、消防署や消防設備点検業者を交えてのものとし、両施設共に津波避難訓練も適切に実施していた。 両施設では、運営委員会、利用委員会などを開催し円滑な施設運営、利用者主体の施設運営に努めていた。 <p>老人憩の家の目的である高齢者の心身の健康の増進の場としての役割を十分に担う施設運営ができている。</p>		前年度事務事故発生の有無	無	前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
前年度事務事故発生の有無	無				
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無				

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改

善状況を記載すること。